

平成26年度事業計画及び収支予算

1 事業計画

区分	事業内容
1 管理事業	
(1) 推進会議の運営 (109千円)	総会及び正副会長・委員長会議の開催等。
(2) 広域観光の推進 広域観光マップの 発行 (341千円)	柏崎・刈羽・出雲崎 広域観光マップの発行。
(3) 観光統計情報の管理	
① データベース構築 ・維持管理 (0千円)	広域観光推進に有用な統計データ等の収集整理。 (今年度は柏崎地域振興局で実施。)
② 経済効果(観光消 費額)調査委託 (2,000千円)	戦略ビジョン目標の一つである「観光消費額の拡大」 の基礎となる、3市町村内の観光消費実態調査を行う。 (今年度の秋冬及び来年度の春夏の2カ年で調査。)
2 企画事業(戦略プロジェクト事業)	
(1) 戦略テーマ実践・モデル事業(競争力ある観光周遊コースの創設)	
① 四っ蔵フェス2015 (600千円)	今春のDC関連企画「四っ蔵飲み鯛」を引き継いで、 地域4蔵の日本酒を提供する酒場めぐり企画を実施。 (2月の毎週金曜日(延べ4日)×参加店50店舗。)
② 四っ蔵フェス アンバサダー (700千円)	松雲山荘など秋の景勝地と酒蔵見学を組み合わせた 日帰りバスツアーをNSTとタイアップで実施。 (11月上旬～下旬に3～4回×各回120～150名募集。)
③ 菓子和咲SWEETS STORY BOOK (500千円)	「お菓子のまち」PRとして、参加店舗を紹介する スイーツブックを持って地域の菓子・パン店をめぐる 企画を実施。(2月中旬～5月下旬の3ヶ月間。)
(2) おもてなし向上事業(柏崎地域ならではの「おもてなし」向上)	
① 柏崎観光体験会& 夏季意見交換会 (300千円)	地域内の事業者を対象に、観光体験会と今年の夏季 観光の報告・意見交換会を開催。顧客の変化に対応し た新しい海の過ごし方を提案する。(9月頃開催。)
② 柏崎共通アイコン 作成事業 (150千円)	地域の各店が共通のアイコン(サイン)を掲示する ことにより、最終的には各店が観光コンシェルジュと なる「おもてなしの街」づくりを進める。
③ 魅力ある物産の 開発及びPR事業 (500千円)	東日本大震災以後、物産PR事業の規模が縮小して いる中、改めて地域観光物産の開発や既存商品の見直 し、セールス活動を実施する。
(3) 委員会・事務局運営 (250千円)	企画事業実施にかかる会議費、消耗品費、印刷費等。
3 予備費 (520千円)	

2 収支予算

収入の部

(単位：千円)

区 分	予 算
1 負担金収入	
柏崎観光協会	2,000
柏崎市	1,800
柏崎地域振興局	1,450
刈羽村	100
出雲崎町	100
柏崎商工会議所	100
刈羽村商工会	50
出雲崎町観光協会	50
西山町観光協会	50
高柳町観光協会	50
(公財)刈羽村生涯学習振興公社	50
柏崎農業協同組合	50
柏崎ハイヤー協会	30
北越後観光バス(株)	30
柏崎観光宿泊業組合	30
柏崎観光旅館組合	30
計	5,970

支出の部

(単位：千円)

区 分	予 算
1 管理事業	2,450
(1) 推進会議の運営	109
(2) 広域観光の推進 広域観光マップの改訂版発行	341
(3) 観光統計情報の管理(注)	
① データベース構築・維持管理	0
② 経済効果(観光消費額)調査委託	2,000
2 企画事業(戦略プロジェクト事業)	3,000
(1) 戦略テーマ実践・モデル事業	
① 四っ蔵フェス 2015	600
② 四っ蔵フェス アンバサダー	700
③ 菓子和咲 SWEETS STORY BOOK	500
(2) おもてなし向上運動	
① 柏崎観光体験会&夏季意見交換会	300
② 柏崎共通アイコン作成事業	150
③ 魅力ある物産の開発及びPR事業	500
(3) 委員会・事務局運営	250
3 予備費	520
計	5,970

(注) ①データベース構築・維持管理は、当面柏崎地域振興局で行うため経費は不要。
②経済効果(観光消費額)調査委託は2カ年で実施することとし、うち初年度である今年度分として約2分の1を計上した。